


遠藤 勇一

えんどう ゆういち / Endo Yuichi

所属・役職	北九州市 保健福祉局 保険年金課 システム担当係長 山口県美祢市 DX 推進アドバイザー、CIO 補佐官 中華民国就業金卡（ゴールドカード） 外国人特定専門人材 数位領域（Digital 分野）在留資格認定者	
活動拠点	主に九州地方	
略歴	1984年 北九州市（うち情報システム実務経験：8年） 2001年（財）地方自治情報センター 主任研究員 2003年 北九州市（うち情報システム実務経験：8年） 2011年 総務省情報流通行政局地方情報化推進室 専門職 2015年 北九州市（うち情報システム実務経験：4年） 2026年 日本及び台湾を拠点に個人事業主として活動予定	
こんなことを支援できます	①自治体システム標準化・共通化 ・システム選定・ベンダー折衝・調達仕様書作成等の工程を含む実践的な支援 ・標準化対象業務の移行方針立案・プロジェクト管理の助言等 ②窓口業務改革 ・人口減、職員数減に対応した市町村窓口の業務改革プラン立案 ・包括外部委託（BPO）の導入支援 ③マイナンバー・ワンストップサービス ・マイナポータルを活用したワンストップサービスの導入支援 ・マイナンバーの利活用に関する実践的なアドバイス ④ネットワーク・IoT 基盤整備 ・ネットワーク全般・機種選定・仮想化等の IoT 基盤全般に関する技術助言 ・自治体セキュリティ・リスク管理・トラブルシューティングの支援	
自治体向けメッセージ	自治体システムの標準化・共通化について、実践的に支援させていただきます。 また、標準化に合わせたBPR、業務改革の推進、包括外部委託（BPO）の導入による住民の利便性向上、業務の効率化等についてのお手伝いができればと思います。 日本と台湾を行き来しながら、リモートと現地での支援を織り交ぜて対応させていただきます。	

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

標 自治体システムの標準化・共通化	シ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム	M マイナンバー
--------------------------	---------------------------------	-----------------

<地域情報化に関する実績>

○昭和 63 年 5 月 ~ 平成 8 年 4 月 (8 年)

北九州市企画局電子計算課にて、IT 関連予算管理、ホストコンピュータの管理、ネットワークの整備、関連設備(電源・空調)更新等を担当

【主な実績】 年々増大する経費を圧縮すべく、新機種への積極的なリプレイス等を強力に推進。

特に、ホストコンピュータの専用端末/ネットワークから Windows パソコン/LAN への一斉方式変更により、約 2.5 億円/年の経常経費削減を実現。

○平成 13 年 4 月 ~ 平成 15 年 3 月 (2 年)

財団法人地方自治情報センターにて、総合行政ネットワーク(LGWAN)の整備、運営協議会の設立、市町村への普及促進を担当

【主な実績】 実証実験の結果を受けた本格整備(立ち上げ)を担当。都道府県等で構成する運営協議会を発足させ、市町村の早期参加を支援。

○平成 15 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月 (1 年)

北九州市産業学術振興局新産業振興課にて、IT 産業の育成、北九州 e-PORT 構想の推進を担当

【主な実績】 中核施設となる「北九州 e-PORT センター」の開設支援、市内への IT 産業の誘致を促進。

○平成 16 年 4 月 ~ 平成 17 年 3 月 (1 年)

北九州市総務市民局情報政策室にて、システム運用の効率化、ホストコンピュータ運用業務のアウトソーシング化(特命事項)を担当

【主な実績】 ホストコンピュータ単体のレンタル契約から、SE・オペレーション等の人的部分や消耗品等を含めた 5 年間の包括的なアウトソーシング方式に切り替え、約 2.5 億円/年の経常経費削減を実現。

○平成 17 年 4 月 ~ 平成 23 年 6 月 (6 年 3 ヶ月)

北九州市総務市民局情報政策室にて、情報システム再編プロジェクトの全体総括、次期システム基盤(最新の機能を搭載する共通基盤)の構築、シンクライアント導入を担当

【主な実績】 平成 22 年 10 月までの約 5 年間で、ブレードサーバの導入、仮想化技術の全面適用など最新のハードウェア及び共通ソフトウェアからなる「共通基盤」と「業務アプリケーション」に完全分離し、一つの共通基盤上に各種業務アプリケーション(41 業務)を搭載するホスティング形式による新システムに完全移行し、約 2.5 億円/年の経常経費削減を実現。(新システムの企画立案から構築における方針策定、工程管理、予算配分管理(約 50 億円)、課題解決管理を一手に掌握)

様々な周辺機器の利用が可能となるこれまでにない 1700 台規模のシンクライアントシステムを導入。

○平成 23 年 7 月 ~ 平成 27 年 3 月 (3 年 9 ヶ月)

総務省情報流通行政局地域通信振興課地方情報化推進室にて、地域情報プラットフォームの普及促進、自治体システムのクラウド化、番号制度導入に向けた支援等を担当

【主な実績】 普及促進による全国約 1,400 の自治体への地域情報プラットフォーム導入。情報提供ネットワーク等の検討に参加し、自治体クラウド推進事業(団体間の業務データ連携に係る検討・実証)、バックオフィス連携による情報連携推進事業等による自治体向けの番号制度導入支援資料の提供。

○令和 4 年 4 月 ~ (4 年)

北九州市保健福祉局保険年金課にて、国民健康保険システム、後期高齢者医療システム、国民年金システムの標準化等を担当

【主な実績】 現行システム関連の委託業務において、延べ 1 億円以上の経費を削減。国民健康保険システムの標準化を相場の 3 分の 1 程度の価格で実現。3 システム(標準化対象 20 業務中、3 分の 1 程度の開発規模に相当)の移行方針立案、ベンダー折衝、プロジェクト管理等を担当し、最適化を実現中。

○その他これまでに関与した地域情報化に関する主なプロジェクト

- ・(一財)全国地域情報化推進協会(APPLIC)の前身となる全国地域情報化推進協議会の設立(平成 17 年 10 月)時から一貫して、地域情報プラットフォーム標準仕様策定に深く関与。
- ・山口県美祢市新本庁舎整備アドバイザー会議委員(情報分野、非常勤特別職)
- ・山口県美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議委員(同上)
- ・山口県美祢市 DX 推進アドバイザー、CIO 補佐官(令和 3 年 5 月~)